

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校 東京自動車大学校	平成2年3月23日	小倉 基宏	〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3 (電話) 03-3601-2535			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 小倉学園	昭和56年12月24日	小倉 基義	〒379-2215 群馬県伊勢崎市赤堀今井町1-581 (電話) 0270-62-0167			
目 的	学校教育法に基づき、各種自動車の整備技術と、その理論知識を授け有能な自動車整備士として、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	自動車整備 専門課程	自動車整備科 2級整備士コース	2年(昼)	1989.8 単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示第21号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	760.2 単位時間 (又は単位)	5.6 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1224 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	308人	35人	5人	40人		
学期制度	■1学期：4月8日から7月31日 ■2学期：9月1日～12月25日 ■3学期：1月8日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験、実習レポート等 100点満点中60点以上合格	
長期休み	■学年始め：4月1日から4月7日 ■夏 季：8月1日から8月31日 ■冬 季：12月26日から1月7日 ■学 年 末：3月21日から3月31日			卒業・進級条件	全ての教科の成績が合格していること。国土交通省で定められた教育時間数を履修していること。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者と担任が連絡を密にして指導			課外活動	■課外活動の種類 オリエンテーション、レクリエーション、 スキー研修、海外研修 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界等 ■就職率 <sup>※1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 77.7% ■その他 進学22.3% (平成27年度卒業者に関する平成28年4月時点の 情報)			主な資格・検定	自動車整備士資格(2級ガソリン、 2級ジーゼル) ガス溶接技能講習 損害保険募集人基礎単位 中古自動車査定士技能検定 有機溶剤作業主任者技能講習	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 27名 ■中退率 8.6%</p> <p>平成27年4月1日在学者 315名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者288名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、病気療養、経済的な問題</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任によるカウンセリング、保護者も交えた面談、</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.taus.ac.jp">http://www.taus.ac.jp</a></p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校はこれまで我が国の自動車産業を担う有為な人材を育成し活力のある社会づくりに貢献することを教育理念に掲げ、自動車に関する知識・技術を修得するとともに確かな人格を有する自動車整備士の養成に努め各界から高い評価と信頼を得てきたところである。

今後ともその社会的使命を踏まえて教育の更なる質保証・向上を目指すために、関係企業・団体等の協力を得て教育課程編成委員会を設置し適切かつ効果的な教育課程を編成するものである。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月30日現在

名 前	所 属
矢口 晴敏	日産プリンス東京販売株式会社 サービス事業責任者・執行役員
小松 久雄	日産自動車販売株式会社 サービス部 執行役員
菅原 三男	スズキ自販東京株式会社 サービス部長・執行役員
出井 裕	日本大学 理工学部 航空宇宙工学科 教授
小倉 基宏	東京自動車大学校 校長
関根 武	東京自動車大学校 校長代行
高橋 博	東京自動車大学校 副校長
三田寺 秀高	東京自動車大学校 教務部長
庄司 達哉	東京自動車大学校 教育部長
池田 和彦	東京自動車大学校 広報部長
藤田 幸司	東京自動車大学校 教育副部長

### (開催日時)

第1回 平成27年6月6日 10:30～12:00

第2回 平成27年8月6日 10:30～12:00

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

自動車業界の人材ニーズに従い、即戦力となれる人材を育てるために、企業と連携を密にして基本作業から、さらにステップアップした新技術などの教育を行う。また、現場での作業に必要とされる、安全作業や時間管理ということも意識した実習を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
故障探求	エンジン、車両におけるトラブルシュートを修得する。	東京日野自動車株式会社
ジーゼルエンジン 応用	ジーゼルエンジン本体、燃料装置、電子制御について分解組立を行い理解を深める。	
総合整備Ⅱ	整備作業全般と診断技術を習得する。入社後に即戦力となれる実力をつける。	

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

教職員が、職務を円滑に遂行するために必要な能力、資質の向上を図るために研修計画を策定し、実施する。研修を行うに当たっては、関連企業・団体等と連携し、専門分野の知識、技術等の向上を図るとともに、授業および生徒指導に対する指導力等の向上を図るものとする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月30日現在

名 前	所 属
木元 聡志	DUO 東京株式会社 管理部 部長
鎌野 光治	東京トヨペット株式会社 社員大満足部長
新谷 靖	中央日産株式会社 管理本部 人財開発部 主管
藤田 泉	東京都立葛飾野高等学校 校長
上野 清	保護者
鈴木 学	卒業生
小倉 基宏	東京自動車大学校 校長 (事務局)
関根 武	東京自動車大学校 校長代行 (事務局)
高橋 博	東京自動車大学校 副校長 (事務局)
三田寺 秀高	東京自動車大学校 教務部長 (事務局)
庄司 達哉	東京自動車大学校 教育部長 (事務局)
藤田 幸司	東京自動車大学校 教育副部長 (事務局)
長尾 隆司	学校法人小倉学園 本部経営管理部 部長 (事務局)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.taus.ac.jp>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.taus.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ビジネス基礎	ビジネス社会における一般常識を習得する。ソーシャル検定を取得する。	1 ①	18.2		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	ワープロ・表計算ソフトの基本操作と実践的な操作をマスターする。見積書、請求書、報告書など実践的な書類の作成方法を習得する。	1 ①	5.6			○	
○			製図	機械製図、電気製図の基礎知識を習得すると共に各種グラフについて読解できるようにする。	1 ①	7		○		
○			工具取扱	自動車整備作業用工具および作業用機器の取扱い方について、安全作業を学ぶ。	1 ①	14		○		
○			ガソリンエンジンⅠ	ガソリン・エンジン本体の基本構造と各 부품の役割および作動を学ぶ。	1 ①	22.4		○		
○			シャシボディⅠ	制動装置ブレーキの基本構造と各 부품の役割および作動を学ぶ。(ドラムブレーキ、ディスクブレーキ、マスターシリンダ)	1 ①	22.4		○		
○			シャシボディⅡ	ステアリング装置の基本構造と各 부품の役割作動、多種類のサスペンション装置について、各形式の特徴、各 부품の役割および作動について学ぶ。	1 ①	22.4		○		
○			基礎自動車工学Ⅰ	自動車の概要、自動車の構造、機械要素など自動車に関する基礎的な原理原則を学ぶ。	1 ①	22.4		○		
○			電気基礎	電気の基礎知識、電気回路を実験を通じて学ぶ。バッテリー・始動装置の構造作動について学ぶ。	1 ①	22.4		○		
合計				9科目	156.8 単位時間 (			単位)		

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			企業研究	就職活動への第一歩として企業研究の方法を習得する。	1 ①	5.6		○		
○			ガソリンエンジンⅡ	ガソリン・エンジンの潤滑装置、冷却装置、燃料装置について学ぶ。	1 ②	23.8		○		
○			シャシボディⅢ	動力伝達装置のクラッチ、トランスミッション、ディファレンシャルの基本構造、役割および作動について学ぶ。	1 ②	23.8		○		
○			ジーゼルエンジンⅠ	ジーゼル・エンジンの本体構造、列型分配燃料噴射ポンプ、基本構造および作動について学ぶ。	1 ②	23.8		○		
○			エレクトロニックシステムⅠ	ガソリン・エンジンの始動装置、点火装置、充電装置、メーター、空調システムについて、各部品の役割および作動について学ぶ。	1 ②	22.4		○		
○			モーターサイクル	2輪車のエンジン、動力伝達装置、サスペンションについて学ぶ。	1 ②	23.8		○		
○			基礎自動車工学Ⅱ	自動車に関わる数学、機構学、単位について学ぶ。	1 ②	22.4		○	△	
○			ガソリンエンジンⅢ	電子制御燃料噴射装置について学ぶ。	1 ③	7		○		
○			ジーゼルエンジンⅡ	実用的なジーゼル・エンジン本体、燃料装置について習得する。	1 ③	7		○		
合計					9科目	159.6単位時間 (		単位)		

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			シャシボディⅣ	走行装置、タイヤ・ホイールアライメントについて学ぶ。	1 ③	7		○		
○			自動車材料	自動車に用いられている材料を中心に各種材料の性質、特性を習得する。	1 ③	7		○		
○			測定	自動車整備に必要な各種テスターやツールの機能と使用方法を習得する。	1 ③	7		○		
○			自動車法規Ⅰ	3級整備士レベルの法規を理解する。	1 ③	7		○		
○			燃焼科学	燃焼に関する理論を学び危険物乙種第4類取得を目標とする。	2 ①	22.4		○		
○			ガソリンエンジンⅣ	実用的なガソリン・エンジン本体、燃料装置の構造およびエンジン性能曲線図の読解を習得する。	2 ①	22.4		○		
○			ジーゼルエンジンⅢ	エンジン本体、各付属装置、構造などを理解する。	2 ①	22.4		○		
○			シャシボディⅤ	動力伝達装置の自動変速機、操縦安定性に関するホイール・アライメント、走行性能などについて習得する。	2 ①	22.4		○		
○			エレクトロニックシステムⅡ	バッテリー、始動装置、点火装置、充電装置など総合整備法を習得する。	2 ①	22.4		○		
合計					9科目		140 単位時間 ( 単位)			

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			自動車工学Ⅰ	自動車に関わる工学計算を学び習得する。	2 ①	9.8		○	△	
○			電気自動車	電気自動車概論を学ぶ。	2 ①	5.6		○		
○			内燃機関理論	内燃機関に関する燃焼理論および燃料、油脂類について習得する。	2 ①	7		○		
○			モーターサイクル整備	2輪車のエンジン、動力伝達装置、緩衝装置、制動装置など総合整備法を習得する。	2 ①	9.8		○		
○			自動車法規Ⅱ	道路運送車両法および保安基準について習得する。	2 ①	22.4		○		
○			エネルギーと環境問題	次世代の動力源とエネルギー理論と自動車の環境問題について習得する。	2 ②	5.6		○		
○			自動車工学Ⅱ	自動車に関わる工学計算を学び習得する。	2 ②	19.6		○	△	
○			ガソリンエンジン整備	ガソリン・エンジンの電子制御燃料噴射装置および吸排気装置について学び習得する。	2 ②	25.2		○		
○			ディーゼルエンジン整備	ディーゼル・エンジン電子制御燃料装置の各装置について習得する。	2 ②	25.2		○		
合計					9科目	130.2 単位時間 (			単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			シャシボディ整備	操縦安定性に関する装置ABS、トラクション・コントロールについて習得する。	2 ②	25.2		○		
○			エレクトロニックシステム整備	バッテリー、始動装置、点火装置、充電装置など総合整備法を習得する。	2 ②	25.2		○		
○			検査機器	車検整備に使用する検査機器の構造と使用方法を学び習得する。	2 ②	19.6		○		
○			自動車検査	自動車検査業務について習得する。	2 ②	25.2		○		
○			トラブルシューティング	自動車全般のいろいろな故障現象に対する推定原因および故障探求方について習得する。	2 ③	84		○		
○			基礎工作作業Ⅰ	工作機器の正しい工具の使用方法を理解する。ボルトナットの締め付けトルクの習得。	1 ①	21.6				○
○			基礎工作作業Ⅱ	バインダー作成、ドリル、ヤスリ、リベットなどの作業を習得する。アーク溶接資格取得。	1 ①	21.6				○
○			基礎実習	自動車整備に必要な基本作業（工具取扱い、ジャッキアップ、車両取扱い）を修得する	1 ①	14.4				○
○			工学実験	自動車整備に必要な物理・化学的事象について実験をおこない、理解を深める。	1 ①	21.6				○
合計					9科目	258.4 単位時間 (			単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ガソリンエンジン基礎Ⅰ	単気筒エンジン(4サイクル・2サイクル)を分解しエンジンの構成部品と作動原理を理解する。	1 ①	21.6				○
○			ガソリンエンジン基礎Ⅱ	自動車のシンプル4サイクルエンジンの分解組み立てを行い構造作動を理解する。	1 ①	21.6				○
○			整備基礎	オーナーズマニュアルに記載されている内容を理解する。自動車の取り扱いに慣れる、ジャッキアップ作業、日常点検ができるようにする。	1 ①	21.6				○
○			制動装置Ⅰ	ブレーキ装置(自動車の止まるメカニズムを理解する)ドラムブレーキ・ディスクブレーキ、マスタシリンダの構造を理解する。	1 ①	21.6				○
○			ボディ基礎整備	車両各部の名称・役割を実車を通じて学び、自動車への興味を深める。ドア、シート、バンパ、フェンダーなどの脱着作業を行う。	1 ①	21.6				○
○			ステアリング装置	自動車の曲がるメカニズムを理解する。	1 ①	21.6				○
○			2輪基礎整備	2輪車の初歩的な整備技術を習得する。ホイール、サスペンション、タンク、シートなどの脱着作業を行う。	1 ①	21.6				○
○			基礎電気整備	配線の結線作業、はんだ付けなどに慣れる。サーキットテスタの使用法と、簡単な直流回路を理解する灯火装置などの基礎的な電気回路に慣れる。	1 ①	21.6				○
○			車体電装整備Ⅰ	灯火装置などの車体電装品の電気回路を作成し、基礎的な電気回路に慣れる。	1 ①	21.6				○
合計					9科目	194.4単位時間(			単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンジン計測	エンジンを分解し主要部品の摩耗を計測し良否判定を行うノギス・マイクロメータ使用法を習得する。	1 ②	28.8				○
○			エンジン整備Ⅰ	エンジンに関する全般的な整備を行う。冷却系統、潤滑系統、エンジン調整などの整備法を習得する。	1 ②	21.6				○
○			ジーゼルエンジン基礎	ジーゼルエンジンの分解組み立てを行い、ガソリンエンジンとの違いを習得する。	1 ②	28.8				○
○			制動装置Ⅱ	制動装置Ⅰの反復練習、エア抜き作業が出来るようにする、制動倍力装置の構造作動を理解する	1 ②	21.6				○
○			サスペンション	自動車のサスペンションの必要性と構造、作動について理解する。	1 ②	21.6				○
○			動力伝達装置Ⅰ	動力伝達経路を理解する。クラッチ・トランスミッションの機能を理解する。	1 ②	28.8				○
○			動力伝達装置Ⅱ	ディファレンシャルの構造作動を理解する。分解組み立調整作業を習得する。ドライブシャフトの構造、脱着作業を習得する。	1 ②	28.8				○
○			定期点検整備	日常点検及び、旧6ヶ月点検を行う。記録簿及び検査業務。	1 ②	21.6				○
○			多頻度整備作業	定期点検整備作業の反復作業を実施するとともに、作業頻度の高い項目を習得する。	1 ②	28.8				○
合計					9科目	230.4 単位時間 (			単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			バッテリー・始動装置	バッテリーの取扱いと、始動装置について理解する	1 ②	21.6				○
○			点火装置	点火装置について理解する。	1 ②	28.8				○
○			2輪点検	点検整備、電装整備を行う。	1 ②	21.6				○
○			エンジン整備Ⅱ	エンジン構造、計測作業を正しく理解する。	1 ③	21.6				○
○			電子制御燃料噴射装置	電子制御燃料噴射装置の基本を理解する。	1 ③	21.6				○
○			ジーゼル燃料装置	列型ポンプ・分配型ポンプの構造・作動を理解する。	1 ③	21.6				○
○			タイヤ・ホイールアライメント	ホイールアライメントの測定・調整を理解する。社外サスペンション交換作業とホイールアライメント調整作業を習得する。タイヤに関する整備作業を習得する。	1 ③	21.6				○
○			シャシ整備	シャシ全般の整備作業を行う。FFミッションの構造・作動を理解する。	1 ③	21.6				○
○			充電装置	充電装置について理解する。	1 ③	21.6				○
合計					9科目		201.6単位時間 ( 単位)			

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			動力伝達装置Ⅲ	オートマティックトランスミッションの構造作動を習得する。点検作業も行う。	2 ①	36				○
○			2輪総合整備	エンジン整備・クラッチ整備、無断変速装置の構造作動を習得する。2輪車の一般的な整備法を習得する。	2 ①	36				○
○			自動車新技術	ハイブリッド、エアバック、コモンレール式ジーゼルについて理解する。低圧電気取扱資格を取得する。	2 ①	36				○
○			車体電装整備Ⅱ	計器類、パワーウィンドウ、ワイパ、空調、灯火装置、オーディオ関連の整備を習得する。電装品全般の整備、故障探求法を理解する。	2 ①	36				○
○			故障探求	実車エンジン、車両において、故障探求の手順を理解する。オシロスコープの使用法を理解する。	2 ①	36				○
○			車検整備Ⅰ	乗用車の車検整備が出来るように反復練習する。スチーム洗車、ガラスコーティング、ボディコーティングも行う。	2 ①	36				○
○			ジーゼルエンジン応用	ジーゼルエンジン本体、燃料装置、電子制御について分解組立を行い理解を深める。	2 ②	36				○
○			ガソリンエンジン応用	エンジン関連の実務的な整備作業を行う。	2 ②	36				○
○			総合整備Ⅰ	2輪エンジン、電気回路計測など、現場で必要な整備を習得する。	2 ②	36				○
合計					9科目		324単位時間 ( 単位)			

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科2級整備士コース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			電装整備実務	電装関連の実務的な整備作業を行う。	2 ②	36				○
○			重整備作業	自動車全般の重整備作業を習得する。	2 ②	36				○
○			車検整備Ⅱ	貨物車の1年点検(継続検査)に伴う作業が出来るようにする。大型車特有のシャシ構成部品の構造作動を理解する。エアブレーキ装置について習得する。	2 ②	36				○
○			総合整備Ⅱ	整備作業全般と診断技術を習得する。入社後に即戦力となれる実力をつける。	2 ③	86.4				○
合計				4科目	194.4 単位時間 (			単位)		